

令和6年12月19日
みどり33推進担当部
公園緑地課

等々力溪谷公園におけるふるさと納税及び危険木への対応状況について

1 主 旨

等々力溪谷公園では、令和5年7月に倒木が発生し、その後に行った樹木調査の結果を踏まえ、令和6年4月より危険木の伐採・剪定作業を順次進めている。

また、令和6年6月末から、溪谷公園内の危険木への対応や、樹林地の生育環境改善等に活用することを目的に、「ふるさと納税による寄附募集」を開始している。

本件では、ふるさと納税及び溪谷公園内の危険木への対応について現在の状況を報告する。

2 ふるさと納税「等々力溪谷プロジェクト」実施状況

(1) 寄附募集期間 令和6年6月27日～令和7年12月31日

(2) 目 標 額 2,000万円

(3) プロジェクト実施状況(令和6年12月8日時点)

① 寄附額 14,354,458円(408件)

② プロジェクト独自のお礼「インセクトハウス」 17件

※令和7年4月から等々力溪谷公園等に順次設置予定

③ 等々力溪谷へのメッセージカード(寄附対象外) 154件

※令和6年10月より順次、現地掲示開始



メッセージカードの掲示

3 危険木への対応状況

(1) 伐採・剪定作業

令和6年4月から危険木の伐採・剪定作業に着手し、11月末時点で、伐採が必要な樹木26本のうち23本、剪定対応とした16本全て、計42本のうち39本の作業が完了した。

現在、伐採材については溪谷公園内に仮置きしている状況にあり、12月中には玉沢橋(環状八号線)付近の歩道を一部切り下げ、環状八号線の溪谷公園出入口まで重機を乗り入れ、伐採材の搬出作業を開始する。



搬出に向けた伐採材の切断作業



伐採材の仮置き状況

(2) 生育環境の改善

健全な樹林地の保全・育成に向けて、表土の保全、ナラ枯れや根上りへの対策、シュロ等の移入種の伐採や、密になっている樹木の間引き等による後継樹木の育成などの作業を進めていく。

なお、これら作業の進捗に合わせ、安全性や通り抜け等の通行が確保された区間について順次、利用を再開していく。



生育環境の改善作業の様子



作業後の状況

4 今後のスケジュール（予定）

- 令和6年12月～ 危険木への対応及び樹林地の生育環境改善作業等
※作業が完了した区間の利用再開（時期未定）
- 令和7年12月末 ふるさと納税寄附募集終了
- 令和7年度中 等々力溪谷公園全面開放